

No 1	湖南省スポーツ協会事業補助金
------	----------------

委員会検証結果	各委員からの主な意見※
<p>現状維持・見直し不要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各観点において特に問題と考えるところはありませんが効果をどのように明示的に示せるかは課題と考えます。</li> <li>・市民の健康増進・福祉面で不可欠な事業であり、特定の市民に限定されない事業展開となっていること、対象スポーツ種目の幅広さからも、公益性が認められます。</li> <li>・市民の健康増進、地域のコミュニティの活性化、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、地域におけるスポーツへの意識向上など多面にわたる事業を対象としている。特にユニバーサルスポーツ部を設け、誰もが参加可能なスポーツについても導入がなされている点、高く評価される。</li> <li>・市民や団体が自主的に活動する段階か。</li> <li>・事業の重要性は、社会情勢の変化等に左右されずに重要なままだと思われ、不変の必要性が認められます。先進性・独自性を認めることができます。</li> <li>・将来的には、一部参加費をいただくことも検討する必要性が生じるかと思えます。場合により市として力を入れたい種目やイベントに補助金をつけることも重要と思えます。</li> <li>・本当に市民の健康や地域活性化になっているかは効果として限定的</li> <li>・当事業を通じた市民の健康増進効果を直接的に測定するような数値指標は設定しがたいために、厳密な効果の規模を計測することは難しいですが、事業各分野での会計・決算監査報告からは概ね適切な補助金執行が行われていることがわかり、効率性・有効性が認められます。</li> <li>・多くの大会を開催運営し、表彰等することによって、市民にモチベーションを与え、スポーツへの意識向上を図り、それが、シビックプライド醸成に寄与していると思われる。より一層の情報発信等による効果の可視化などの工夫が望ましい。</li> <li>・補助金から別の支出手法への見直しが必要(新しい活動への時限的補助としてはどうか)</li> <li>・参加者のニーズや流行り、市の置かれている状況にあわせて、取組やイベントの内容の工夫ができるよう、適宜補助金のあり方を見直してください。</li> <li>・活動内容を市民の方に向けて広く発信されることが望ましい。</li> <li>・有効性について見える化をしていく、メリッ的に示すということが必要。</li> <li>・様々な新しいスポーツへの声もありますが、それも含めて文化スポーツ課においても積極的に地域のスポーツが活発になっていくようにスポーツ協会とともに新しいスポーツの在り方等々作っていく姿勢をぜひ期待をしたい。</li> </ul>

※各委員からの主な意見であり、委員会の検証結果と異なる場合があります。

所管課の 対応方針	意見に対する回答および今後の対応
継続・現状維持	<p>令和 7 年度に国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会が開催され、大会レガシーを引き継ぎ、スポーツ振興に繋げていきたいと考えている。地域でスポーツが根付き、健康増進・福祉面でも多くの効果があるためにスポーツ協会の事業は欠かせないものと考えており、市でも一定の補助は継続していきたいと考えている。事業や有効性が見える化については、湖南省広報や HP、スポーツ協会の HP 等で発信を行っているところであるが、更に市民に伝わるように学校配布を用いたイベント周知や健康増進を目的とした運動奨励など、年齢層に応じた媒体の活用・スポーツ推進の工夫をしていきたい。</p> <p>令和 7 年度に法人・個人事業主の賛助会費の金額を 5,000 円から 1 万円にしたところであるが、今後補助金に依存しない運営の必要性も意見があったことから自主財源を確保するために会費徴収を検討することや、事業参加費を徴収することも今後の課題として検討していきたい。湖南省スポーツ推進計画では、令和 10 年度に成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 60%とすることを目標としており、市も一定の協力を行いながらスポーツ協会事業がより発展していけるよう今後も工夫をしていきたい。</p>

令和7年度 補助金効果検証結果および対応方針

No 2	湖南省高齢者就業機会確保事業補助金
------	-------------------

委員会検証結果	各委員からの主な意見※
現状維持・見直し不要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの観点も満たしているものと考えます。ただし、民間事業者の圧迫になっていくことのないよう目くばせもお願いしたいと思います。</li> <li>・高齢者の生きがいを支援する観点、雇用機会確保の観点で、高い公益性が認められます。高齢者の働き先を確保することは公益性が高いと考えます。</li> <li>・一部は必要だが民間で成立</li> <li>・シルバー人材センターの事業目的・事業内容の重要性は、社会情勢の変化等に左右されずに重要なままだと思われ、不変の必要性が認められます。</li> <li>・退職後も働きながら社会との接点を保ちたという高齢者に、適した業務内容のしごとを提供することの必要性は高いと考えます。</li> <li>・市の関与は低くなって良い、自前で回せるはず</li> <li>・市の補助金に加えて国からの補助金もありますが、シルバー人材センターの事業として、事業収益だけでも自立可能なレベルでの経営が実現できていて、よいと思います。とはいえ、事業が有する高い公益性の観点からも、事業安定の確保のため、一定の補助金は不可欠と思われれます。</li> <li>・基金の状況を踏まえて、必要に応じて補助金額を見直してください。</li> <li>・事業各分野での会計・決算監査報告からは概ね適切な補助金執行が行われていることがわかり、効率性・有効性が認められます。</li> <li>・会員数が増えていることから、高齢者のニーズは高いと考えます。</li> <li>・今後、会員数と受託事業数・額、会員のスキルと依頼される業務内容のミスマッチが生じる可能性についてもあらかじめご検討ください。</li> <li>・社会情勢の変化等により必要性が薄れ、行政が補助する必要性がない。</li> <li>・補助金から別の支出手法への見直しが必要（委託料）</li> <li>・特定業務に絞った市からの委託としてはどうか。大きく減額が可能。</li> <li>・5年以内の10%削減案が実現できるとよいと思います。事業経営は成功していると思います。</li> <li>・1つは収入と支出の伴う事業でありますので、適切な補助になっているかどうか改めて検証していただきたい。それを踏まえた上で、今後この事業の市の補助のあり方というのを見直していくことを考えていただきたい。</li> <li>・就業構造が大きく変わってきていること、様々な新たな業態というのが出てきており、それぞれの業務分野により環境がどんどん変わりつつある。人材センター型の事業の在り方、いずれ見直しも必要。市内の高齢者の方々にとって良い働き方とか社会との関わり方というのをどう作っていくのか、検討はさらに進めていただきたい。</li> </ul>

※各委員からの主な意見であり、委員会の検証結果と異なる場合があります。

現時点で考える 市の対応方針	意見に対する回答および今後の対応
継続・現状維持	<p>業界事情や就業構造が大きく変わりつつあるとしても、若年層に比べて高齢者は情報機器の扱いに慣れていない方が多く、デジタル・デバイド（情報格差）が生じており、わかりやすい就業構造を持つシルバー人材センターは高齢者が安心して働ける場所となっている。今後市内でも高齢化が更に進み、高齢者の活躍の場と雇用の創出の観点からも事業の公益性は高く、また会員は増加傾向にあることからシルバー人材センターの存在は必要不可欠であり、事業安定の確保として市でも一定の補助を継続していきたいと考えている。ただし、補助金の検証においてもあった通り現在の経営状況を鑑み、今後補助金の削減や事業自体の在り方の見直しを検討していきたいと考える。</p>